

# 高等部 1年 職業科

## 「働くために一校内実習」

### 1. 本単元を通して身につけさせたい力

・校内実習を通して「自己理解・他者理解」を進め、自分の役割を理解し協力して作業する方法を身につけるとともに、『社会生活力』の働く意欲を育てる。

#### 【知識・技能】

・作業に必要な実践的な知識・技能を身につける。

#### 【思考力・判断力・表現力】

・自分の役割を踏まえて評価したり、反省を伝えたりすることができる。

#### 【学びに向かう態度】

・実習に意欲的に取り組む。

### 2. 児童・生徒の実態

- ・初めての实習に意気込んでいる生徒が多いが、「商品を扱う責任」という意識はまだ育っていない。
- ・人との関わりに消極的な生徒もあり、声を掛け合い作業をスムーズに連携することが課題である。

### 3. 本時の目標

- ・校内実習の作業内容や手順について知る。(知・技)
- ・作業を体験し、自分のやりたい(できる)パートを考える。(思)
- ・製品の取り扱いを意識し、意欲的に作業に取り組む。(態)

### 4. 活動・教材等の工夫

#### ○体験できる場の設定

・自分の得意・不得意を知り作業分担を選ぶために、おしぼりとどんぶりの一連の作業に一人で取り組む機会を設定。

#### ○振り返りの場の設定

・作業の後、どこが得意でどこが苦手なのかを把握するため、自分で振り返りチェックシートをつけるとともに友だちからの意見ももらい参考にした。

#### ○個々の実態に応じた教材

- ・正確に数えるための支援グッズ。
- ・発達段階に合わせて振り返りチェックシートを準備。

### 5. 学習の様子



### 6. 成果と課題

#### 【成果】

・毎年、1年で校内実習、2年生から現場実習に取り組んでいるが、自分の得意不得意を自分だけでなく周りの人から評価してもらうことで、意見を交換し合う大切さと判断の幅を広げることができた。

#### 【課題】

・まだ、自分の意見を筋道を立てて説明できる生徒が少なく教員のリードが大きなウエイトを占めていた。さまざまな取り組みを通して生徒間のコミュニケーション力を上げることが課題である。

# 高学部 2年 職業科

## 「働くために」

### 1. 本単元を通して身につけさせたい力

・『基本的生活力』の項目にある自分の生活を振り返り、見直したり改善したりすることをねらいとしている。

#### 【知識・技能】

職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。

#### 【思考力・判断力・表現力】

職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。

#### 【学びに向かう態度】

よりよい将来の職業生活の実現に向けた実践的な態度を養う。

### 2. 児童・生徒の実態

- ・休日は、ゲーム等、スマートフォンを長時間使用する生徒が多い。
- ・自分たちでどうしたら良いかを考えることはできるが、すぐに改善につなげることは難しい。

### 3. 本時の目標

- ・正しい生活リズムを知ることができる。  
(知・技)
- ・友だちと生活習慣のグラフを見比べて、違いに気づくことができる。(思)
- ・生活習慣をよりよくしようと改善策を考えることができる。(態)

### 4. 活動・教材等の工夫

#### ○自分の生活を客観的に捉える工夫

・1日の生活習慣を視覚化するため、帯状のグラフで表すようにした。グループの話し合いでは、一人ずつ順番に提示していくことで、自分と友だちとの違いに気づけるよう工夫した。

#### ○ワークシートの活用

・「誰と、どの時間が、どう違うのか。」等、具体的にまとめられるようワークシートを活用。

#### ○主体的に取り組める工夫

・各グループにタイマーを渡し、生徒たち自分で時間を計って取り組めるようにした。

### 5. 学習の様子



### 6. 成果と課題

#### 【成果】

- ・友だちと生活習慣グラフを用いて比べることで、自ら改善点に気づくことができた。
- ・自分の意見を発表したり、友だちの意見を聞いたりして、自分の生活について考えることができた。

#### 【課題】

- ・客観的に見られるように一般的によいとされる社会人や同年齢の生活習慣を提示する。
- ・生活習慣の改善点だけでなく、よい点も取り上げ評価する。
- ・良い悪いだけでなく、その人にとって必要であるか、不必要であるかの視点から生活習慣を考えることも必要である。将来の余暇にもつながる。
- ・改善した点を踏まえて、自分の理想の生活習慣のグラフを作成するとよい。

# 高等部 3 年 職業科

## 「実習報告会」

### 1. 本単元を通して身につけさせたい力

・『コミュニケーション』の項目にある自分の気持ちや意見を積極的に伝え、場面に応じた話し方ができることをねらいとしている。

#### 【知識・技能】

報告会の発表を通して、実習で必要な力や成長した点等を友達や教師に伝えることができる。

#### 【思考力・判断力・表現力】

実習や報告会をもとに、自分の成長した点や課題を見つけ、整理したりまとめたりする。

#### 【学びに向かう態度】

報告会に向けて、発表の練習をしたり質問や意見を考えまとめたりしようとする。

### 2. 児童・生徒の実態

- ・働くことに対して考えたり、意識したりする子どもが少ない。
- ・自分の課題を見つけたり、向き合ったりすることが難しい。
- ・自己理解（長所・短所等）が難しい。

### 3. 本時の目標

- ・実習中に成長した点について原稿やスライドを見ながら相手に伝わるように発表する。（知・技）
- ・報告会を通して得られたことを学校生活に反映するために考えを整理する。（思）
- ・意欲的に発表したり、進んで他者の発表を聞いたりすることができる。（態）

### 5. 学習の様子



### 4. 活動・教材等の工夫

#### ○場の設定

- ・いくつかの部屋に分けることで、報告会を集中して聞くことができるよう工夫。
- ・自分の意見等をよく考えて発表できるよう質疑応答の時間を十分に設ける。

#### ○振り返りと次への課題

- ・振り返りシートを用い、発表者が自己評価や今後の学校生活の目標を設定できるよう工夫。

#### ○主体的に取り組める教材

- ・スライドのテンプレートを用意することで、頑張ったこと、反省したこと等を自分なりに振り返ったり、課題を見つけやすくしたりする。
- ・事前に資料を配布し、発表者や見学者に質問したり、回答したりできるよう工夫。

### 6. 成果と課題

#### 【成果】

- ・自分の考え等を伝える経験ができた。
- ・実習の経験者からの発表を聞くことで進路への見通しが持てた。（特に2年生）
- ・実習を通して、学んだことを振り返り発表することで、頑張りや課題を自分の中に落とし込むことができた生徒もいた。

#### 【課題】

- ・友だちからの評価の場面を作る。  
→言える雰囲気、仲間作り
- ・発表の項目に悩んだこと、困ったこと、褒めてもらいたいこと等深く考えられる項目を追加する。
- ・他者の評価を受け入れて生活を改善する力を付ける。
- ・発表だけで終わらないように自分が今後どうしたいか等も発表する。